

保育計画成果報告書

法人名	社会福祉法人 正和会
施設名	てんじん保育園
報告者（役職）	河野 和 昭（園長・理事長）
住所・連絡先	東京都小平市天神町2-1-1-26
	☎ 042-313-5030
	E-mail tenjin@himeyuri.net

○タイトル（保育計画）

遊びという教室(フィールド)で遊べ! ～ 人生に必要なことはすべて保育園の庭で学ぼう ～

○主な助成備品

(クライミング遊具)チャレンジまるた、ロックング遊具2台

1. 保育計画策定の目的

アメリカの教育学者ロバート・フルガムは「人生に必要な知恵はすべて、幼稚園の砂場で学んだ」と述べています。砂場に限らず、子どもは遊びの中から知力・体力・社会性・緻巧性など、生きていくのに必要な多くのすべを学んでいきます。

したがって保育園の園庭は、子どもにとって学びの場（教室）であり、そこに用意された遊具や玩具は教科書や教材であると考えています。ですから、自園の園庭では優れた遊びが展開され、多様な活動や動きが求められ、友達とのコミュニケーションが生まれるような園庭環境を築きたいと考えて計画しました。

2. 具体的な実施内容

当園は「遊び」や「おもちゃ」について真剣に学び・考えるために、園長は「おもちゃコンサルタント」の資格を取得し、保育士は全員「おもちゃインストラクター」の講習を修了しています。保育室に用意された玩具も多様な遊び方ができて、飽きがこないでいつまでも継続的に楽しめ、友達とのコミュニケーションや協調性を育むような玩具（グッド・トイ）を選び、備えています。

今回整備をした遊具も、『チャレンジまるた』は外側のクライミング・ウォールにより遊びながら「三点支持」や「身のこなし」「バランス感覚」などを身につけ、中側のネット遊具により「よじ登り」や「ごっこ遊び」など様々な遊びが展開しました。

また、『ロックング遊具』は自分の体をダイナミックに動かすことで遊具を動かすので、体の揺らし方を様々に工夫して動きを楽しんだり、2台並べることで競争やコミュニケーションが生まれ、さらには握力、腹筋、背筋を鍛えるアスレチック効果もありました。

【クライミング遊具 チェレンジまるた】



4・5歳児の子ども達は、クライミングを上に登るだけでなく、周りをグルグルと追いかけて遊んだり、上側から出入りしたりと、自分達で遊び方を考えたり工夫したりしていました。

最初の頃は手を滑らしたり、足を踏み外したりして落ちていた子ども、次第に三点支持による身体保持がきちんとできるようになり、転落する子はいなくなりました。



2・3歳児の子ども達にとっては、まるた内の空間が落ち着くみたいで、網の上に集まっては何やらおしゃべりを楽しむ姿が見られました。

中にいる子どもがお店屋さんになって、外からお店に買い物に来る子どもでできて、『チャレンジまるた』は単なるアスレチック遊具ではなく、ごっこ遊びの舞

台になったりもしました。このように環境に応じて遊びを作り出す力を育てるという事も、乳幼児期にはとても大切な学習であると思います。

【ロッキング遊具 ミッキーとドライブ、ドナルドとボート遊び】



とお話しをしたり、顔に触れて「イイコ、イイコ」したりする子もいました。

幼児クラスの子ども達は、大きく漕いでスピードを競い合ったり、立ち乗り、後ろ乗り、



街中の公園からは、危ないという理由で『動く遊具』が消えている現代だからこそ、保育園の園庭ではこのような動きのある遊具で全身を使って遊ぶ体験が必要になってくるのだと思います。

3. その成果と評価

このようにクライミング遊具とロッキング遊具が園庭に設置されたことにより、子ども達の遊びの幅が広がっただけでなく、日常的にダイナミックな動きと全身の筋力を使った遊びが展開されるようになりました。

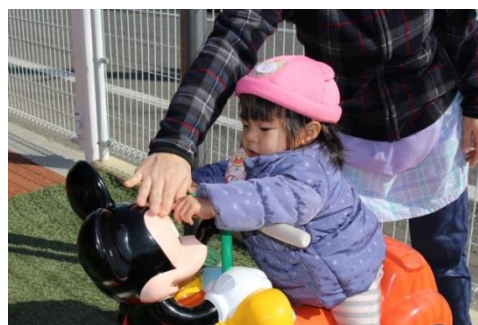
これにより、子ども達の基礎的な運動能力の向上と身のこなしが良くなり、運動することに自信を持って取り組む姿が多く見られるようになりました。

4. 今後の課題と展望

クライミングの技術がついてきたので、次の段階として『チャレンジまるた』から連動して遊べるクライミング・ポールやウォールを設置することにより、より連続して遊べるような環境（園庭）づくりを進めていきたいと考えています。

ロッキング遊具は2台が並んで設置されていることにより、「お友達と一緒に」という感じが強くなり、競争したり、おしゃべりしながら遊ぶという姿が見られました。

ミッキーやドナルドといった子どもに馴染みのキャラクターがついていることで、ミッキー



二人乗りなど様々な乗り方を自分で考えて、友達に自慢気に披露している子もいました。このように自分たちで遊び方を考えるという事も、遊びの大切な要素だと考えています。



以上